

留学先: 建陽大学(韓国)

留学期間: 2025 年 3 月～2025 年 8 月

皆さん、こんにちは。経済学部3年 野口葉菜です。



私は 2025 年 3 月から 8 月までの 5 か月間、韓国・建陽大学に留学しました。高校生の時に韓国語の勉強を始めた当初からの夢であった韓国留学を経験できて、本当に嬉しかったです。そして、留学での経験は楽しいだけではなく、自分自身の成長にも繋がりました。

建陽大学は論山市というソウルや釜山と離れた場所にあります。田舎にある大学ですが、近くにカフェが沢山あり、自主学习や友人たちと話す場所としてよく利用していました。また、韓国語の先生と一緒にご飯を食べに行ったり、友人と大田という隣の市に遊びに行ったり、勉強以外にも充実した 5 か月間でした。精神的にも疲れるこ

とが多い留學生活の中で、おいしいご飯屋さんに行ったり、友人と話したりすることで力を貰っていました。大学近くに飲食店が多いので、を美味しいご飯を食べることで毎日頑張る力を貰っていました。

留學中の目標は2つあり、1つ目は、自身の韓国語力の向上です。2つ目は、様々な国から韓国へ留学に来た留学生たちと交流を持つことでした。

まず、留学に行く前は韓国語能力試験 TOPIK I (初級)の 2 級取得し、TOPIK II (上級)では 143 点で不合格でした。留学に行った後は TOPIK II (上級)227 点で 5 級を取得することが出来ました。あと 3 点で最上級の 6 級だったので、これからも勉強を続けて6級取得を目指します。留學中は毎日6時間以上勉強していたので、その成果が結果に出たと思います。TOPIK 対策の授業では、過去の問題を解いて先生に解説してもらったり、作文の添削をしてもらったりしました。効率よく TOPIK の勉強が出来て、スコアを伸ばすことに繋がりました。建陽大学では独自の教科書があり、長文読解や作文、リスニング、会話など韓国で暮らすために必要になる実用的な韓国語を中心に学ぶことができました。中級のクラスでは、毎週教科書の内容にあったテーマでパワーポイントを作成して 5 分程度の発表をしていました。その時に公の場所で使う韓国語や韓国語での発表の仕方、日常生活では使わない難しい韓国語を学ぶことができました。生活で使う韓国語の基礎を学ぶ初級のクラスとの一番大きな差だと思いました。難しいですが、とても面白く、ためになりました。





そして、建陽大学にはベトナム、中国、キルギスタン、モンゴル、エチオピア、カンボジアなど様々な国から来た留学生と一緒に韓国語を学びます。クラスのレベルが上がるほど、クラスメイトの韓国語力も上がるため、先生やクラスメイトとの韓国語での意思疎通が楽になります。休日にカンボジア人の友人と遊ぶ時も全て韓国語で話していました。お互いの国の教育や暮らし、将来の夢などを話しました。日本では出会うことができない人達と留学を頑張る仲間としてお互いに支え合いながら多くの思い出を作りました。

留学では、旅行ではできない韓国の文化や韓国での暮らしについて知ること、感じるができます。韓国人の情に厚い部分や文化的な価値観など暮らしや授業な中で知ることができます。そのような韓国らしい部分に実感すること多いと思います。また、建陽大学の多国籍なクラスで学ぶことで自分の価値観や考え方を改める機会にもなると思います。私は心配症で行動を起こす前に悩むことが多かったのですが、留学を通して「やってみよう」と考えたことをすぐに実行するようになりました。建陽大学の先生方や国際教育課の方々がサポートしてくださるので、いろんなことに挑戦できました。

交換留学は大学在学中にしかできない貴重な経験です。言語の上達だけではなく、国際交流や異文化理解、新たな友人との出会いなど数多くの魅力があります。そして、自分だけの特別な経験ができると思います。留学に興味がある方は、ぜひ一度国際課に相談してみてください。また、留学を目指す方や留学に行く予定の方は、挑戦を大事にして沢山のことを経験して実りの多い留学をしてほしいと思います。応援しています。

